

2-39

庶発第1号 昭和28年1月6日

内閣総理大臣
衆議院議長
参議院議長 } あて(各通)

日本学術会議会長 亀山直人

ツグミ・アトリ・カシラダカを猟鳥に加えることについて(要望)

標記のことについて、国会政府が広く世論に聞いて慎重審議に当られることと存じますが、さらに専門学者の意見を徴し科学的検討を加えて、事の可否を決定されるよう希望します。

2-40

学発第144号 昭和28年4月4日

文部省大学学術局長

稲田清助 殿

日本学術会議研究費委員会

委員長 尾高朝雄

昭和28年度文部省科学研究費交付金・科学研究助成補助金・私立大学研究基礎
設備助成補助金の配分方針について(申入)

上記のことについて、本委員会の意見を、下記のとおり申し入れます。

なお、このことについては、本委員会が、本会議第13回総会において委任を受け、去る3月30日会議を開催、審議の未決定したものであることを申し添えます。

記

第1. 科学研究費交付金について

全般的には、昭和27年10月10日本委員会が決定した「科学研究費の配分について」に拠るべきであるが、具体的処理については、次の点を考慮の上、配分の審査を行うのが適当である。

1. 総合研究及び各個研究の審査配分にあつては、昨年度以上に、厳選・重点的配分を行い、そのことが結果において客観的に表われるようにすること。
2. 家政学については、家政学界の意向を十分尊重の上審査を行うこととし、研究費の枠は、予め定めることをせず、必要額を保留金から出すようにすること。
3. 科学史については、第1部(史学)において、科学史学界の意向を十分尊重の上審査を行うこととし、その研究費の枠は予め定めることをせず、家政学と同様、必要額を保留金から出すようにすること。